



国見っ子

令和2年度 第13号
国見町立国見小学校だより
令和2年 12月23日
発行者 校長 本多 康弘

2学期が終わりました

暑い夏から、雪の降る寒い冬になりました。季節は変わりましたが、子ども達の元気な声はいつも校舎内外に響いています。同時に、学校は少しずつ本来の姿に戻りつつありました。あっという間でしたが、2学期も今日が最後になりました。

コロナ禍と言われるようになり、未だに新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めている学校生活です。しかしながら、子ども達は学習面・生活面など「できること」を探しながら、様々な体験を通して多くの大切なことを学び、それぞれ成長した姿を見せてくれました。児童一人一人の努力もあります。様々な教育活動におきまして、保護者の皆様からいただきましたご理解とご協力によるところが大きかったと感じます。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、過日はお忙しいところ個別懇談に学校までおいでいただきましてありがとうございました。懇談会でも担任よりお話をさせていただいたところですが、本日通知票を持ち帰りますので、2学期の学習や生活について振り返ってお話をお願いします。褒めるべきところはしっかりと褒め、課題については、しっかりと立ち向かえるように励ましの一言をお願い致します。ご家族の優しい励ましの声掛けが、子ども達にとっては大きな支えになります。

新年が明けると、いよいよ進級進学となります。冬休みの間にお子さんと一緒に新学期の目標を立ててみていただきたいと思います。そこで、終業式には目標を立てた次のステップとして、「頑張り方を知ることとして、以下のような話をしました。(一部抜粋)

「頑張り方を知る」ということは、『どうやったら目標を達成できるか』ということです。今日のめあてや2学期の目標など、目標を立てると思いますが、この目標やめあて達成のために「どんなことをやれば達成できるのか?」を具体的に考えて、取り組むことが大切なのです。

「テストで、100点取りたい」とか、「もっと運動できるようになりたい」

そのために、とても良いアドバイスをしてくれるのが、担任の先生です。応援してくれているのが、保護者の皆さんです。皆さんの周りには、たくさんの応援してくれる方がいます。

一人一人すばらしい可能性を持った子ども達です。計画的に具体的な取り組みを積み重ねていけば、より輝く力を発揮していきます。

冬休みの過ごし方

明日から冬休みとなります。これまでの冬休みの過ごし方とは異なる形になるかもしれません。

しかし、子ども達にとっては、年末年始を含め、社会と関わる学習や社会を見る目を育てる絶好の機会です。普段の生活とは異なる伝統的な文化や行事に触れる機会もありますので、地域を見直す良い機会になると思います。また、この期間家族で過ごす時間は、子ども達とふれあう時間も増えます。「家読」を家庭生活の一部とした読書や自主学習に家族一緒に取り組めば、子どもの自己実現力にもつながります。充実した冬休みを過ごすことができれば、新学期以降もまた新しい目標に向かう力になります。

お知らせとお願い

- 学校の閉庁日 12月29日(火)から1月3日(日)まで
- 学校へのご連絡 日中の電話連絡は、8:30~16:00の間をお願い致します。
※ 児童や保護者の方で学校に来校する場合には、担任等が不在の場合がありますので、事前にご連絡等をお願い致します。
- 緊急時の連絡方法 メールやホームページでご連絡します。
※ 個別に連絡が必要な場合には、各ご家庭にご連絡致します。
- 感染症について 冬休み期間中も、感染症対策についてご家庭にてご指導をよろしくお願い致します。また、ご心配、ご不安があれば、関係機関とともに学校にもご一報をお願い致します。